

沖繩口守たる昔ぬ県ぬ定み

船津好明

「しまくとぅばの日」や二〇〇六年に作らつたる
県ぬ定みやいびーん。くぬ定めー、沖繩口守ゆる
初みてぬ定みんぐ思ーりとーんねーさびーしが、
あねーあいびらん。昔ん沖繩口守ゆる定みぬあ
いびーたん。

今から七十年位前ぬ事やいびーしが、一九
四〇（昭和十五）年まんぐる、大和口広みーる
事とぬ係わいさーに、沖繩口ぬ立場ー如何ーす
がんで言ち、言ー争いぬあいびーたん。うんにー
ねー、大和口広みーしえー沖繩ぬ役所ぬ立場やい
びーたしが、うぬ仕方ぬ一杯強さぬ、丁度うん

にーに大和から沖繩んかい来よーたる柳宗悦
（宗悦、敬ーぬ呼び方ーさん）んでる学者が
「大和口広みーる役所ぬ仕方ー合点ー成らん。か
んしえー沖繩口ー無ーん成ゆん。沖繩口押し退
きてー成らん。」んで言ち、役所と言ー争い成い
びたん。役所ー宗悦んかい「うんじゆが言みしえ
ーしん解いしが、大和口広みーしえー前々からぬ
役所ぬ政治むちやくと、沖繩口守ゆる事ー許さ
らん。」んで言ち、宗悦ぬ意見聞ちやびらたん。
学校をてー生徒ぬ達習ーする場所ねー、必じ
大和口ぬ使ーりやびたん。生徒ぬ達が沖繩口使
ゆしえー禁止成とーやびーたん。使いねー方言札
たつるーさつたい、先生から呪ーつたい、出来ら
んぬーさつたいし、沖繩口ー次第に弱く成て行

ちやびたん。

宗悦加勢するつ人ぬ達とつしえー、田中俊雄、

河井寛次郎、東恩納寛悳、島袋全発んでー、

くん人達や沖繩口守ゆる立場やいびーたん。伊波

普猷んいぬ立場やいびーたしが、言ー争いんかえ

ー出じやびらたん。

役所ぬ立場とつしえー、吉田嗣延、淵上房太郎、

新崎寛直、くりんかい加勢するつ人ぬ達とつ

しえー当間嗣合、島袋源一郎、伊江朝助、杉山

平助んでーぬ居やびたん。

言ー争えー如何ー成たがんで言ーねー、役所

宗悦達言ー分押し退きて、宗悦んかい「沖繩

口ー無ーん為すん。」で言びたん。あんさくと宗悦

達や争いんかい負きて大和んかい帰やーに、うぬ

後ー、なー沖繩んかい来ゆる事ー無ーやびらん

たん。かんし、役所ー宗悦達とぬ言ー争いんか

い勝ちやびたん。やいびーしが、役所ぬ本当ぬ肝

ーあねーあらん、沖繩口大切にさんだれー成らん

で言る考ーやいびーたん。何がどんやれー、役所

ー前々から大和口広みーしが政治むちやたくと、

役所ー宗悦から言ったくとんで言ちん、政治むち

変ーゆしえー成いびらたん。やいびーしが、役所

ー吟味さる後ぬうじゆめー、宗悦が言ちよーしん

尤んな事んでち、宗悦とー相談ーさん如、沖繩

口守やがなー大和口広みーる定み（今ぬ条例）

作やびたん。左ぬ如成とーやびーん。

「戦世ぬ暮らし益しなする為ぬ細ーきたる手段

1〜4飛ばち

5、大和口広みーる事ー、国ぬ立場から見じーね
 ー、国ぬ言葉一ち為すしえー一杯大切やで、急
 がんだれー成らんあい、県民う万人ぬ栄ーゆる
 為にん、如何ーしんさんだれー成らん事やくと、
 是非う万人んかい解らさんだれー成らん。うぬ
 場所ねー沖縄口押し退きゆんで言る考ーさり
 らん如、色分きて考ーらんだれー成らん。』
 (元ぬ大和口)

『戦時下に於る県民生活の刷新向上に関する具
 体的方策

1) 4 省略

5、標準語運動に際しては、国家的見地より、国語
 の純正統一の重大性、緊急性と、県民発展の必須
 的要件とを極力強調すると共に、特に方言を貶す

が如き誤解を招かざるやう注意すること。』

くぬ定みぬ成たしえー、一九四〇(昭和十五)
 年ぬ八月やか後やいびーん。くぬ定みぬ肝要など
 くるー、大和口広みーる際に、沖縄口ん思りん
 言る事どやいびーる。大和口さーに言ー換ーいね
 ー、方言に配慮して標準語を広めよ。成いびーん。
 かんし、くぬ定めー沖縄口守ゆる定み成とーやび
 ーん。
 方言札ー定みんかい叛ちよーいびーしが、くぬ
 定みぬ広がらんまま忘らつたしえー、戦ぬ故ど
 やいびーる。